

原小学校コミュニティ・スクールだより



発行日：令和5年 9月 28日 〈NO.6〉

2年生が、虫となかよくなる体験をしました

9月20日(水)3・4校時，原自治協議会の「子どもを育む環境部会」の井川良成様のご協力を得て，2年生が生活科の「生きものとなかよし」の学習をしました。その際，自治協より虫かごと小型の虫取り網をそれぞれ10ずつご購入していただきました。ありがとうございました。



学習の最初には，井川さんが持って来られたニホンアマガエルを見せていただいたり，虫探しの時の注意事項や虫取り網の使い方を教えていただいたりして心の準備をしました。

虫探しは学級園周辺で行いましたが，2年生の子ども達はすぐにバッタやチョウ，カナヘビやトカゲなどを見つけては上手に網で取って虫かごに入れていました。教室に帰ると，虫の名前を教えてくださいながら，透明な大きな入れ物にまとめて入れました。たくさん取れてみんな満足そうでした。



5年生が「あやめの前最終発表会」をしました

9月21日(木)3・4校時、5月に小倉神社を案内してくださった「子どもを育む環境部会」の井上順一様をお迎えして、「あやめの前最終発表会」が開かれました。

5年生は、あやめの前伝説に所縁の深い小倉神社を訪れて以降、グループあるいは個人で調べてみたいテーマ(例えば、「あやめの前にかかわる家系図」「源平合戦はなぜ起きたのか」「あやめの前はどのように逃げたのか」等)を決めて、インターネットや文章資料等を利用して調べてきました。そのまとめを発表する際に、調べたことをどのように学習発表会の演技に生かしていきたいか、あるいはどのように演じてもらいたいかを述べていました。そのことが素晴らしいと思いました。井上順一様に聞いていただき、さらなるアドバイスとご指導をいただきました。11月11日(土)の学習発表会が楽しみです。



5年生が学習発表会へ向けて「篠笛体験」をしました

9月25日(月)5・6校時、篠笛奏者の川口裕子さんと八本松町在住の二人のサークル仲間の方をお迎えして、篠笛体験教室が開かれました。学習発表会で5年生が取り組む総合表現「あやめの前伝説」では、役柄によっては篠笛を吹く場面があるのですが、今回はとりあえず全員が篠笛を体験してみようということで、時間を設けました。

事前に配布いただいた資料を参考にしながら、篠笛の歴史や構造、種類について教えていただいた後で、さっそく歌口(息を吹く穴)だけで音を出してみました。初めは難しかったようですが、だんだんと音が出るようになりました。タンギングは使わないとか穴のふさぎ方が違うとか、リコーダーとの違いも教えていただきながら、所作が大切なことも学びました。とても貴重な体験となりました。

